

DANTOTSU Value

FORWARD Together for Sustainable Growth

コマツを取り巻く外部環境

世界では保護主義や多極化、気候変動への意識がますます高まっています。外部環境が大きく変化するなか、建設機械・車両部門では、建設・鉱山機械の需要は中長期的には緩やかな成長が見込まれるものの、短期的にはボラティリティ(需要の変動幅)が高く推移すると予想されます。産業機械他部門では、自動車業界向けの需要はEV化進展等による産業構造変化が見込まれ、半導体業界向けは中長期では確実に成長するものの、一時的な調整局面が予想されます。

こうした環境下で当社が持続的な成長を実現するためには、需要変動に左右されない成長戦略が必要となってきます。

外部環境とESG課題の変化

政治・経済

- 多極化する世界
- 保護主義の台頭
- 新興国の経済成長



技術

- IoT/AI/ビッグデータの更なる浸透
- EV化・自動化の進展



環境・エネルギー

- 気候変動
- エネルギー・食料・水需要増加
- 脱炭素化・再生可能エネルギー

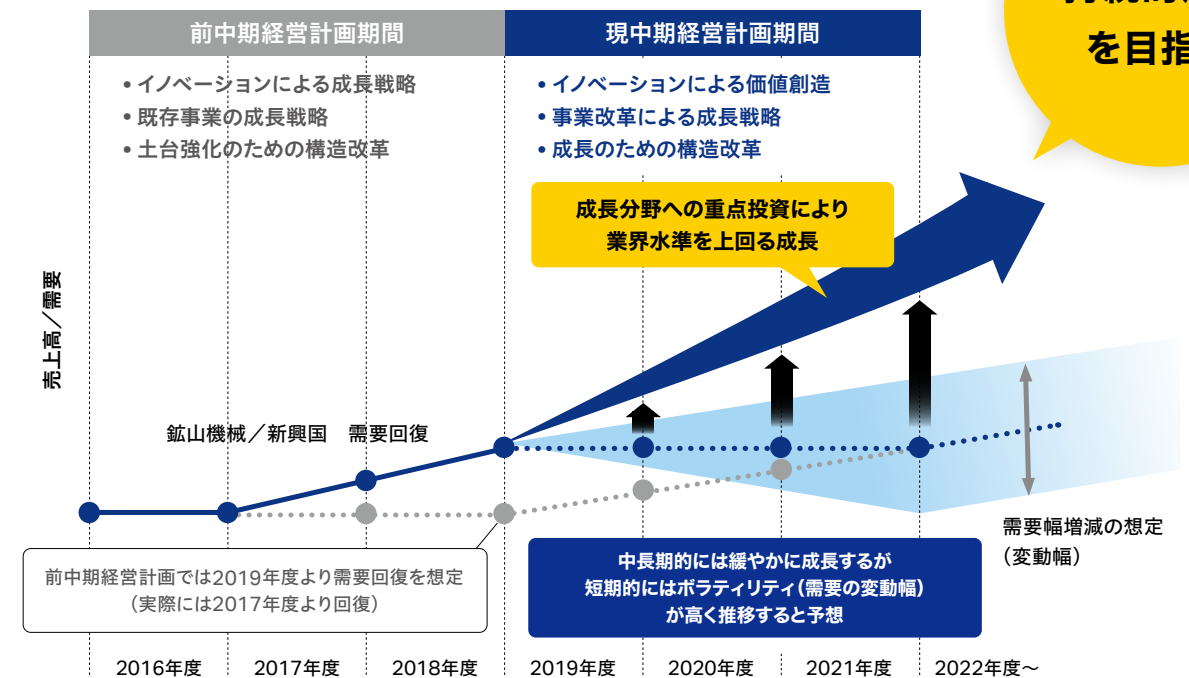


社会・価値観

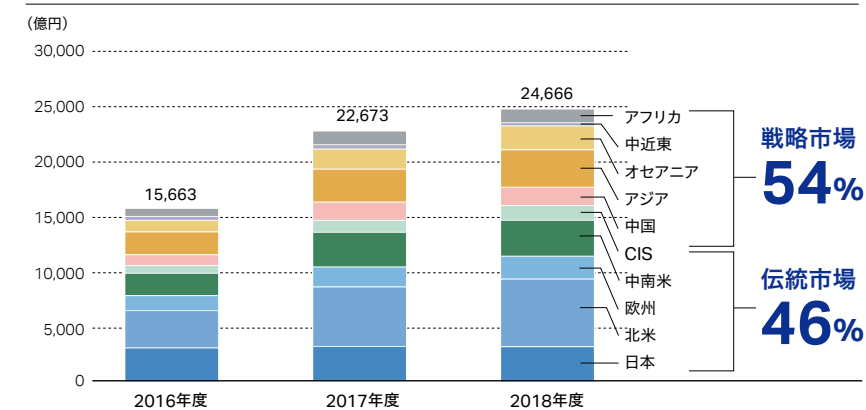
- 先進国でのダイバーシティ加速
- 労働人口の減少
- シェアリングによる循環型社会の実現
- 安全・快適の追求、ニーズの高まり



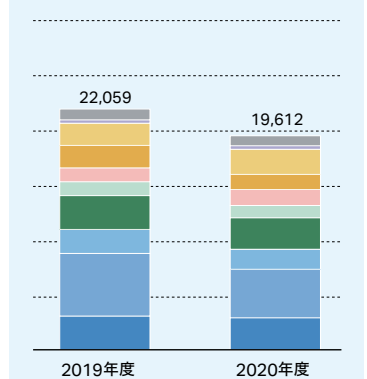
建設・鉱山機械の需要推移



建設機械・車両：地域別売上高推移(外部顧客向け)



現中期経営計画策定後の実績



持続可能な社会

の実現への期待

成長戦略における課題

① 本業の成長戦略を通じたESG課題解決

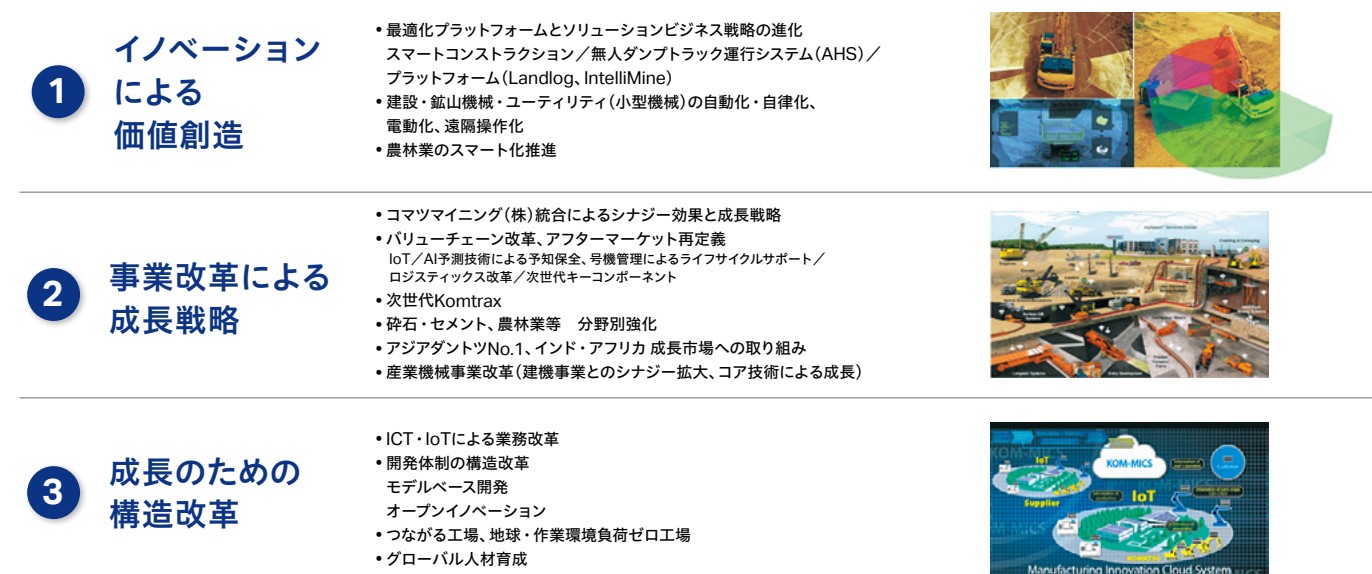
② 外部環境変化や需要変動に左右されない収益構造による持続的成長

中期経営計画の概要・位置づけ

中期経営計画では、2021年の創立100周年とその先のコマツのあるべき姿・目指すべき姿を設定しました。当社の目指すべき姿は、「安全で生産性の高いスマートでクリーンな未来の現場」をお客さまとともに実現することで、顧客価値創造を通じたESG課題の解決と収益向上の好循環を図ることです。

経営の基本

「品質と信頼性」を追求し、「企業価値」である、我々を取り巻く社会とすべてのステークホルダーからの信頼度の総和を最大化する。



中期経営計画の経営目標進捗状況

経営目標		FY2019(中計初年度)		FY2020
		指標	実績	実績
成長性	・業界水準を超える成長率	売上高成長率	▲10.3%	▲10.4%
収益性	・業界トップレベルの営業利益率	営業利益率	10.3%	7.6%
効率性	・ROE10%以上	ROE	8.6%	5.8%
健全性	・業界トップレベルの財務体質	ネットD/E レシオ	0.43	0.35
株主還元	・成長への投資を主体としながら、株主還元(自社株買いを含む)とのバランスをとる。 ・連結配当性向を40%以上とする。	連結配当性向	57.7%	48.9%
	・環境負荷低減 CO ₂ 排出削減: 2030年50%減(2010年比) 再生可能エネルギー使用率: 2030年50%	環境負荷低減	△14%	△14%
			△32%	△33%
ESG	製品使用時のCO ₂ 削減 生産によるCO ₂ 削減 再生可能エネルギー使用率	外部評価	11%	13%
	・外部評価	DJSI選定(ワールド、アジアパシフィック) CDP Aリスト選定(気候変動、水リスク)	DJSI選定 CDP気候変動 評価 A CDP水リスク 評価 A-	DJSI選定 CDP気候変動 評価 A CDP水リスク 評価 A
リテールファイナンス事業		ROA	1.5%	1.2%
		ネットD/Eレシオ	3.80	3.69

中期経営計画の概念・考え方

中期経営計画では、新たな3つの成長戦略として、①イノベーションによる価値創造、②事業改革による成長戦略、③成長のための構造改革を掲げます。そして、これら成長戦略3本柱の考えに基づいた成長分野への重点投資を優先的にを行い、需要の変動に左右されず、収益向上とESGの課題解決の好循環による持続的成長を目指します。

